



# 茗溪 かながわ

MEIKEI KANAGAWA

# NO.16

発行 神奈川茗溪会 (旧 茗溪会神奈川支部) 発行者 大畑多津雄

令和2 (2020) 年 6月

## 箱根駅伝を応援して

神奈川茗溪会会長 大畑 多津雄



2区を疾走する金丸逸樹選手 (4年)

久しぶりに筑波大学が「あの箱根」を走るといふことで、箱根駅伝で母校の応援ができる喜びと、同窓会としてどのように事前の準備、当日の対応を進めたいのか、初めての体験でうまくやり遂げることができるだろうかという途方もなく大きな不安が襲ってきました。

川県内であることから、応援場所の決定・確保、動員と応援場所や地元の協力者の発掘など事前に決めることを考え、茗溪本部や筑波大学あるいは筑波大学陸上部の動きを待たずに、神奈川茗溪会として、主体的に一つ一つの事柄をどんどんと決めてしまいたい衝動にかられたものでした。

4者間の調整の場面においても、取り組み方に対する考え方に微妙な相違があり、大学内でプランが進行するに合わせ、一度決めたことを覆されることもあって、不安と苛立ちがどんどん膨らんでいきました。

それでも本番直前には、往路復路それぞれ3か所の応援の仕切りは神奈川茗溪会に任せていただくことになりました。そんなバタバタの中での応援でしたが、小田原本町の応援での中村伸二氏、山崎紀彦氏、箱根口での応援のために2年続けてお力添えいただいた安藤啓一氏、このひと時のためにわざわざ関西から駆けつけてくれたOB、自社のタウン誌の取材と相まって、準備段階から声掛け、写真提供などの協力をしてくれた岸田夏枝氏など、今回関わってくれた多くの先輩たちの熱い思いに支えられ、初めての応援ではあるものの、なんとかやり遂げることができたんだと思います。

20位という着順はともかく、筑波大学を背負って箱根を走る学生と一緒に戦えた喜び、これは何物にも代えがたい体験でした。箱根駅伝の応援

援をしてみても、神奈川茗溪会総会で「若いも若きも一堂に会して茗溪を感じる」ことが、この箱根駅伝の応援を体験した時の感覚に似ているということに気が付きました。

筑波大学がいつまた箱根を走ることかわかりませんが、またその時が来たら自分も走っている気持になつて、筑波大学生と一緒に戦いたいと思います。そしてそんな素敵な時間が近い将来再び訪れることを信じています。



箱根口 IC 応援地点にて

# 神奈川で開かれた茗溪のつどい

## 若手の会

### ミニプレゼンも

### スタート

令和元年十一月十六日(土)、第八回若手交流会がいつもの中華料理「大陸」で開催されました。

前回から「神奈川産業人倶楽部」「新泉組若手教員の会」との同時開催としたのに加え、今回から会員同士の専門知識やノウハウを披露し、互いを高め合うためのミニプレゼン会を行うことになりました。

第一回のプレゼンターは、鉄道・運輸機構に勤める赤澤正彦さん(h12筑自)にお願いしました。赤澤さんは、つくばエクスプレスで使われた数々の土木技術について、一般の人にもわかりやすく解説してくださいました。また、開業間近の相鉄・JR直通線の概要も知ることが出来ました。

事前に寄せられた参加者からの質問にもスライドを使って回答して戴き、実りの多いプレゼン会となりました。とりあえず集まろうとスタートした「若手

交流会」がアカデミックな会へと一歩を踏み出した第八回でした。次回からは平成卒業に加え、令和卒業も加わるようになります。「若手交流会」のプレゼン会も含め、神奈川茗溪会が、知的交流の場として、発展していくことを祈念します。

森麻夫 (h13 筑院教育)



## 茗溪十二月会



令和元年十二月八日(日)、横浜中華街にある景德鎮本館において、標記懇親会を開催しました。

今回は、茗溪会全国理事矢野正人顧問・神奈川茗溪会長大畑多津雄顧問・会長代行加藤充洋顧問をお招きし、教育職関係者・総勢二十五名が集いました。

この会は、関係会員相互の交流に加え、前年度退職の会員の歓送も兼ねており、今回は前年度の退職者、大石進様(前城山高等学校校長・桐蔭横浜大学客員教授・佐藤到様(前横浜翠嵐高等学校校長・総合教育センター顧問・佐藤教道様(前田奈高等学校校長・現鶴嶺高等学校校長(再)・玉井正史様(前馬高等学校校長・現同校長(再))のご出席をいただきました。中野久美子氏(新羽高等学校校長)が司会進

行し、発起人代表・林忠氏(小田原高等学校校長)の辞で開会、顧問矢野様・大畑様のご挨拶に引き続き、顧問加藤様の乾杯の発声で歓談が始まりました。

途中、退職された大石様・佐藤到様・佐藤教道様・玉井様より近況報告を含めたご挨拶をいただき、記念品を贈呈いたしました。その後、全員の近況報告、そして、宴終盤、大石進氏の指揮のもと、恒例の宣揚歌「桐の葉」を斉唱・力強いエールを上げ、吉川亮氏(足柄高等学校校長)の閉会の辞で座を締めくくりました。

添野龍雄(s57 筑二農林)

## 親睦 ゴルフコンペ



茗溪親睦ゴルフコンペが11月15日、松田町にありますチェックメイトカントリークラブで開催されました。この会も3回目を迎え、今回新たな産業人も加わり、参加者も4組15名で行うことができました。当日は天気も良く、ラウンドの途中途中で富士山の雄姿を見ることができました。現職も含め、年齢・職種いろいろな方との触れ合いを通して、楽しい時間を過ごすことができました。来年も同じ時期に第4回の親睦ゴルフコンペを開催する予定です。案内は総会の席くらいしかありませんが、参加を希望される同窓生は大畑まで連絡をお願いします。どうぞ、奮ってご参加ください。(電話 090-4610-0682 大畑)

参加者と組合せ(敬称略)

【1組】 大畑多津雄(s52 教大教)、水江彰一(s37 教英)、林忠(s58 筑一自)、遠藤滋(s58 筑三社会)

【2組】 新木康稔(s41 教体)、落信久(s38 教体)、安藤彬(s38 教体)、大塚哲(s34 教体)

【3組】 高橋正一(s42 教総農)、京野勝(s40 教大農化)、鈴木克己(s39 教生) 熊澤茂(s45 教農工)

【4組】 大辻昇(s42 教総農)、矢嶋博(s45 教体)、坂本紀典(s51 教大健)

# 茗溪の水

## 第二の人生に向けて

加藤充洋 (s 56 筑一社会)

定年を迎え、お茶目心で赤いパンツを買って家族から笑いを取った。…それだけであった。

若いころから「何のために生きていくのか」という形而上的な問いを人並みに持ち、教職の中にそれを見つけようと、もがきながら頑張った気もする。しかし、若干想定はしていたものの、エンドになっても分からな

いまだった。再任用勤務となり一年が過ぎ、ここからいきなり形而下的な展開になる。嬉しいことに私の人生の目的の一つは「ラグビーワールドカップの観戦」であることが分かっちゃった。

自らのキャリアを顧みると、高校生から今までラグビーというスポーツに何らかの形(選手・指導・レフリー・役員・ファン)でかかわり、痛みや苦しみをそして時々の楽しさを味わってきた。…気が付けば私の精神構造の少なくとも1/2は『ラグビースピリッツ』丸写しである。(皆知っているノーサイドやラウン・フォア・オール…の類である。)中学までは貧弱でチキンな



少年だったが、このスポーツの虜になったお陰で、少しは人となり、職を得てからはこれによって様々なピンチを乗り越えることができた。…もはやラグビーが私の人生の目的にかかわらなくて何であるう。ちょうど定年後の節目にラグビーWCの日本開催というのは私には象徴的な出来事だった。2019年9月20日初戦から11月2日決勝まで、私は東京・横浜はもちろん釜石鶴住居、エコパ、豊田等あちこちのスタジアムに在った。エコパスタジアムのアイルランド戦では大学後輩の福岡堅樹君の逆転トライを前から5列目で目撃した。勝利の大歓声の中に私は夢とうつつが一体化し、もしかしたら古代インド哲学の梵我一如はこれかしら?と思うばかりの感動の体験をした。そして、我が人生の具体的な目的をはっきりと確認することができた。

少年だったが、このスポーツの虜になったお陰で、少しは人となり、職を得てからはこれによって様々なピンチを乗り越えることができた。…もはやラグビーが私の人生の目的にかかわらなくて何であるう。ちょうど定年後の節目にラグビーWCの日本開催というのは私には象徴的な出来事だった。2019年9月20日初戦から11月2日決勝まで、私は東京・横浜はもちろん釜石鶴住居、エコパ、豊田等あちこちのスタジアムに在った。エコパスタジアムのアイルランド戦では大学後輩の福岡堅樹君の逆転トライを前から5列目で目撃した。勝利の大歓声の中に私は夢とうつつが一体化し、もしかしたら古代インド哲学の梵我一如はこれかしら?と思うばかりの感動の体験をした。そして、我が人生の具体的な目的をはっきりと確認することができた。



## 思い出と絆 堤 誠一 (s 55 筑二人間)

「何のために生きているのかわからないのは嫌だ」と大好きなアンパンマンの歌が訴えている。今気が付いてみると、私が教職にある間に抛り所にしてきた人道、博愛、平和、ヒューマニズム、国際協調…、それら主義主張の全てが、長く関わってきた『ラグビースピリッツ』に含まれていた。

平成三十年三月に県立高等学校で教職に一度目のピリオドを打ちました。現在県立高等学校で再任用として勤務しています。この間、県立高等学校を始め総合教育センター等の行政機関で勤務する機会を頂いたのは茗溪会の諸先輩方の絆です。

東京高師の校長を歴任した伊沢修二、高嶺秀夫が留学先としたニューヨーク州立大学オスウエゴ校からの留学生約二十名が大学二年時の秋に来日しました。その際、歓迎ダンスパーティーの企画やその後の友好交流を運営したことが在学中の活動で最も印象に残っています。現在、再編された人間学群教育学類ではニューヨーク州立大学など五大学と交流協定を締結しています。

大学卒業後、筑波大の名前を新聞等で目にしたのはスポーツ関係の活躍でした。その頃、箱根駅伝の記事も掲載されていました。昭和五十七年から六十年にかけて箱根駅伝での本学のエースは渋谷俊浩でした。

昭和六十年一月二日、当時テレビの生放送がないので、私はラジオを持参して、横浜駅前から戸塚中継所まで伴走車であった自衛隊のジープを目印に東海道線で追いかけてきました。濃紺のシャツ(当時)と黄色の襷を身に

AE えびあや 検索

**AE海老名・綾瀬法律事務所**  
弁護士 中道 徹(神奈川県弁護士会)

お気軽にお問合せください!  
**046-205-3780**  
〒243-0432 海老名市中央1-8-3 えびすビル4階

親身に対応します

した場面を今でも鮮明に覚えています。

令和元年五月初め、大学時代同じ学類であった秋田出身の同級生と桜並木で有名な角館で偶然再会しました。ふと、聞き覚えのある話し声の方向に四十年後はそうなるだろうと想像できる同級生の姿がありました。

この間年賀状の遣り取りはしていたのですが、四十年前の耳からの記憶が頭の片隅に残っていたことに非常に驚きました。

私にとって、筑波大学時代の思い出と連綿と繋がる茗溪の絆は一生の宝となっています。

(緊急)

会員の皆様

神 奈 川 茗 溪 会  
会 長 大 畑 多 津 雄

### 神奈川茗溪会総会のご案内

青葉若葉のみぎり、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、令和2年7月25日(土)に予定しておりました神奈川茗溪会の総会ならびに懇親会ですが、新型コロナウイルスの影響で実施が困難となりました。例年総会で取り上げてきた本部総会報告、令和元年度決算報告、令和2年度予算案の審議、加えて今回は役員改選の年でもあり、このままではそれらの審議が行えないという状況でございます。

そこで今年度は総会を書面会議として執り行うこととし、いくつかの協議内容については書面で報告し、返信ハガキで賛否を確認するというにさせていただきますこととしました。年に1度、総会の場を借りて、年齢・業種を問わず集まり、「それぞれの茗溪」を感じあい、そして共通の思いである「宣揚歌」を、肩を組みながら歌い上げる、そうした時間・空間を共有できないことは非常に残念ではありますが、この度の状況を勘案いただき、この取り組み方についてお許しいただきたいと思っております。

今回の会報に同封させていただきました3本の議案についてお眼通しいただき、同封のハガキで議案への賛否について確認させていただきます。なお、議決権行使書の未提出及び白紙提出は賛成に含むものとします。また、審議結果につきましては、茗溪会本部のHPの地域のページ(下記アドレス)に掲載させていただきます(<http://www.meikei.or.jp/branch/kanagawa>)。ご協力の程よろしくお願いいたします。

加えて今年度の総会ならびに懇親会が見送られたことにより、会費収入やその他の収入が見込めず、例年並みの予算が組めておりません。このままでは、茗溪かながわ秋号(No. 17)の発行が難しい状況でもあります。恐縮ではございますが、同封の振込用紙を使用して、一人でも多くの会員が会費の納入をお忘れなく果たして下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局長 大石 進 (s56 筑体) 090-1536-1745 ssuoishi-5812.syk@docomo.ne.jp

#### 川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

#### 横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大体) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

#### 横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

#### 平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 山田和彦 (s53 教大農) 0462-88-1504

#### 北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大体健) 090-3817-3402